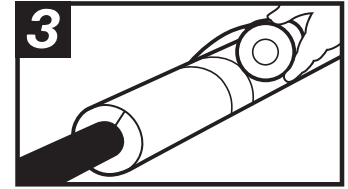
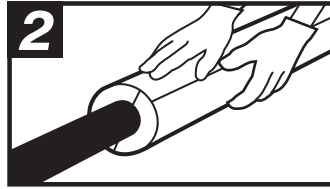
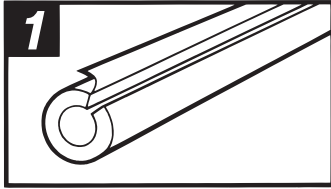


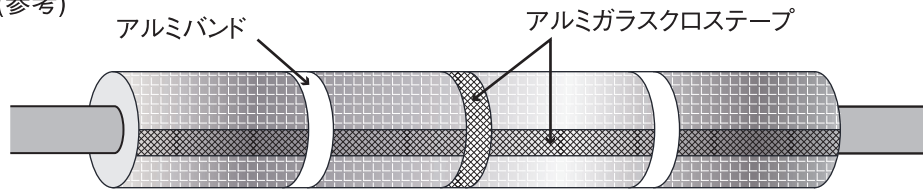
パイプガードAG施工マニュアル

■ストレート部分

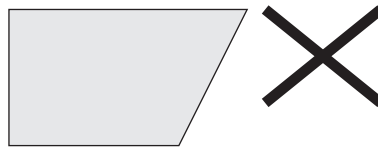
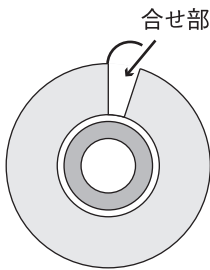
- ①パイプガードを2つ割りに開き、配管に装着し、ヒレ部のセパレーターを剥して粘着部分を本体表皮部に貼り、強く圧着して下さい。
- ②更にヒレと本体表皮部の接合面の長手方向にアルミガラスクロステープを貼り、手で数回強く圧着して下さい。
- ③300mm～400mmの間隔で円周方向にアルミバンドを取り付けてください。(目安:1mに2ヶ所)
中央と継ぎ目部にアルミガラスクロステープを巻き、手で数回強く圧着して下さい。2巻き以上が最適です。



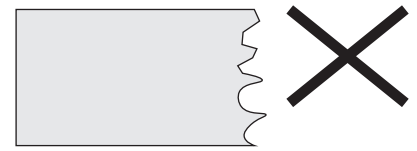
完成図(参考)



- 圧着の際は、被粘着部の油・汚れ・ホコリを十分に拭き取って下さい。
汚れた状態のままヒレを圧着しますとテープの粘着力低下につながります。
- 製品端部及びヒレ部が鋭利になっておりますので、製品に触れる際は、必ず軍手等の安全具を着用して下さい。
- 素手で製品を触るとケガにつながりますのでご注意ください。
- 2つ割りの合せ面は完全に密着させて下さい。合せ面に隙間があると保温性能が低下します。
- パイプガードを切断する場合、市販のカッターナイフやハンドソーなどで切断して下さい。
- できるだけ切断面が平滑に、長さ方向に対して垂直になるように切断して下さい。



斜め断面



凸凹断面

- 断面が平滑でなかったり、垂直になっていない状態で接続しますと、接続面に隙間ができて保温性能が低下します。

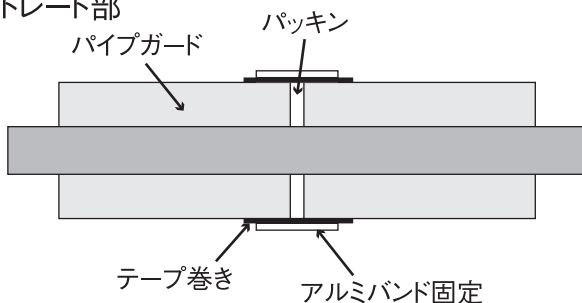
■継手部

継手に継手カバーを被せ継手カバーの凹凸部を合わせた後、端部と合わせ部にアルミガラスクロステープを貼り強く圧着してください。

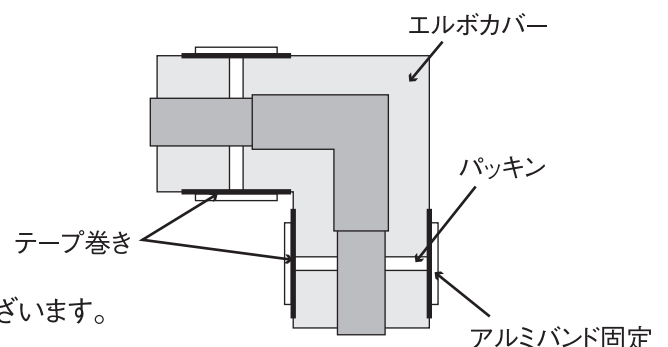
■接続部

接続部分は、カバーの断面に粘着付きのパッキン(別売)をはさみ圧着して下さい。
その上から、アルミガラスクロステープを巻いて下さい。
2巻き以上が最適です。更にテープの上からアルミバンドで止めて仕上げます。

ストレート部



継手部



※アルミバンド、アルミガラスクロステープは同梱のほかに別売りもございます。
関連部材につきましては裏面をご覧ください。

PGA用関連部材【別売】

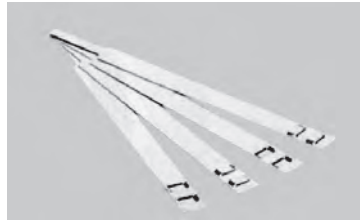
■アルミガラスクロステープ

商品記号	適用サイズ	梱包数
ALTAPE-A	30mm幅×5m巻	108巻

■アルミバンド

商品記号	適用サイズ	梱包数
ALMB-15	15A	500枚
ALMB-20	20A	500枚
ALMB-25	25A	500枚
ALMB-32	32A	500枚
ALMB-40	40A	500枚
ALMB-50	50A	500枚
ALMB-65	65A	500枚
ALMB-80	80A	500枚

アルミバンド



■菊座

商品記号	適用サイズ	梱包数
KIKZ-15	15A	250枚
KIKZ-20	20A	250枚
KIKZ-25	25A	250枚
KIKZ-32	32A	250枚
KIKZ-40	40A	250枚
KIKZ-50	50A	250枚
KIKZ-65	65A	250枚
KIKZ-80	80A	250枚

菊座



■パッキン

商品記号	適用サイズ	梱包数
PAKN-15	15A	500枚
PAKN-20	20A	500枚
PAKN-25	25A	500枚
PAKN-32	32A	500枚
PAKN-40	40A	500枚
PAKN-50	50A	500枚
PAKN-65	65A	500枚
PAKN-80	80A	500枚

パッキン



■保管及び運搬上の注意

- ①湿気の少ない冷暗所に保管して下さい。直射日光に当たりますと黄変し、水が付着しますと加水分解によってウレタンフォームが脆くなる恐れがあります。
- ②火気及び熱源に近いところなど、火災の恐れがある場所に置かないで下さい。
- ③子供の手が届かない場所に保管して下さい。
- ④ダンボールに強い衝撃や圧力が掛からないように保管及び運搬して下さい。負荷が掛かる状態で置かれますと、保温材が凹む可能性があります。

■施工上の注意

- ①施工は、製品に付属している施工マニュアルをよく読み、正しい手順で設置してください。
間違った施工、無理な施工は製品や配管等が損傷する恐れがあります。
- ②必ず配管の種類、サイズに適合した管種・サイズを使用してください。
適合していない管種・サイズに無理に施工すると製品や配管等が損傷する恐れがあります。
- ③連続使用配管温度の範囲内(−40℃～100℃)でご使用ください。
連続使用配管温度(100℃～120℃)にて長時間使用されますと製品寿命の低下に繋がる恐れがあります。
- ④設置場所(環境)によって、製品に雨水等の集中的な外力が加わったり、大きな衝撃が加わりますと、製品に大きなダメージを与え、製品が損傷する恐れがあります。
また、製品が酸性、アルカリ性雰囲気下に晒されますと表面材のアルミニウム箔が腐食する恐れがあります。
- ⑤断熱部(硬質ウレタンフォーム)は露出しないように遮蔽処理を行ってください。
断熱部を露出した状態にしておくと、劣化により性能が低下する恐れがあります。
- ⑥保温材同士の接続部には、必ずアルミガラスクロステープを貼り、隙間ができないようにして、きちんと仕上げてください。
隙間が開いていますと、水が入り金属管腐食の原因となります。
- ⑦断熱部の一部を削る等の加工をされますと、本来持つべき性能が維持できず、保温・保冷効果が損なわれたり、製品の寿命低下に繋がる恐れもあります。
- ⑧高所や足場の不安定な箇所での作業は、安全具の着用と、周辺の安全を確認して作業を行ってください。
- ⑨直管部分を切断する際に、ノコギリ等を使うと破片が飛ぶことがありますので安全具(手袋や保護メガネ等)を着用して作業してください。
- ⑩梱包開梱時に刃物を使わないでください。誤って製品に傷をつけてしまう恐れがあります。
- ⑪表面材は傷がつきやすいので、放り投げたり、引きずったりしないでください。
- ⑫配管更新時には、本製品も再利用せずに更新していただくことを推奨いたします。見た目に異常が無くても、経年劣化していることがあります。
- ⑬保温材は凍結を完全防止するものではありません。
使用環境や使用状況によっては、凍結する恐れがありますので、使用される環境や状況を考慮してご使用ください。
- ⑭アルミガラスクロステープは設置環境や経年劣化により接着力が低下します。
剥がれが発生した場合は速やかに補修を行ってください。
- ⑮継手端部の表皮が浮いている場合がありますので、その際は施工時に内側に折り曲げて施工してください。